



日曜新聞 昭和五年十月三日 第一八六八號

### 石城の今年の稲作 大体二割の減収か

#### 被害は悉く品種によるもの 男を上げた奨励品種

大減収を豫想される石城地方、見せ郡北方面は異種の栽培が稲作は稍正調に直つた昨今の天候に幾分の盛返しあるものと喜ばれてゐるが今年の被害は全部天候に左右された品種の不作で同一時期に出穂開花したもので縣の奨励品種のみは不思議なほど減収程度が軽く初めて一般農業を目標めしめてゐる被害の状況を方別にせば山間部は奨励外の品種の爲めに悪く中央平垣部も同様の結果から品種によつて思はしくないものを各所に

### 石城梨の共同出荷 漸く盛期に臨む

#### 中央市場へ既に二萬四千貫 郡農務旋車車の見込

石城梨は本年非常な好出来で東部市場の聲價を上げてゐるが数日漸く出廻り盛りとなり既に共同出荷されたものも好開二、平窪三、上小川二、内郷二、その他を合せて十餘車を算し送先は大部分分神田中央市場及び横濱方面にも若干の進出を見せ、右を以て直に運ばれた二萬四千貫(四千八百箱)に達した今年郡農會に於ける幹旋出荷の見込みは三十車である

### 米價保合

石城郡販賣に於ける昨一日の俵米共同販賣は昨報の如く四百四十四俵の出荷に對して十

### 棄權が多いのは お百姓さんが最高

#### インテリ層も割合に多い 平署の棄權者調べ

去二十五日の本郡下縣會選挙に於ける平署管内四町十八ヶ村の棄權總数は三千六百六十八人で此の棄權者を平署で調査した結果職業別に見ると最も多いのは農業の三千三百八十九人で總棄權者の約四割を示めてゐる、即ち上流の九十四名中農四百三十九名、小作農八百五十六名、次ぎは土工坑夫で中流が四十六名、以下六百四十名、計六百八十六名此れに次いで日雇業者の四百七十三名、商業の二百三十五名、行商人の百五十一名、大工左官の九十七名、鐵道その他運輸業者の三十名、會社役員十九名、商店員十七名、會社員九名、官吏七名、公吏五名その他九百五十一名で此れを生活状態から觀ると上流階級は百二十八名で大半は病氣その他止むを得な

### 淫奔女房

夫を棄てて家出  
内郷村大字宮字峰根居住若松六郎妻カツ(三)は去月廿八日夜無断で家出行方を晦ましたので八方捜査中であるがカツは性來の多情女で六郎と同棲八年間に情夫を持つ事數人その度毎に夫を棄てては情夫と脈落してゐた者で新しい男から男へ轉々としてゐた稀代の淫奔女今度も附近に住んでゐた某と情交あると噂されてゐたものである

### 四倉市場の活況 高値六七圓一〇錢

#### 騰る平均六十三圓

四倉市場は五十掛を越えるに附催高女穴井致論の審高値に異常な活況を呈してゐたが晩秋早期物の出廻りが漸く激し二日の開散の姿で來る四日頃から九月一日掃き出しの初めまた一ときり盛況を見るもの、如く相場は依然高値を維持する豫想であつて三十日及び一日の取引値は左記の如くであつた

形光平	平第二原貴美	尋
三神谷遠藤統雄	飯野常陸	平
和子	尋四飯野鈴木裕	平
二鈴木靜	尋五平三松本英	一
一千葉裕子	高一神谷澤	田澤一
平二佐藤久子	▲二等尋一飯野スガノトシ	タカ
平二宮川幸子	尋二飯野直井豊	平三矢代琴子
尋三平一市原二良	平二鈴木知恵子	同四平一川崎次
男 神谷吉田きよ	同五平一石川榮一	平三松崎幸子
高一好開高神崎金吾	飯野	

### 簡保記念の 書方優良者

選まれた三十六名	日向	原 時行
小學生徒書方展覧は既報の如く	東京	廣澤 安任
昨日四丁目マルトモホール	東京	西郷 從道
	東京	渡邊 清
	東京	木梨準一郎
	東京	橋本 犬若
	東京	古莊 嘉門
	東京	牧田 義雄
	東京	澤村 則辰
	東京	増戸 武平
	東京	柳田 直平
	東京	松本 豊多

### 郷土史抄

故郷先生の	遺影を偲ぶ	東川 漁史	東京
坂城 俊草	坊城 俊草	東京	
服部 關春	服部 關春	東京	
服部 大瀧	服部 大瀧	東京	
服部 親民	服部 親民	東京	
渡邊 昇	渡邊 昇	茨城	
柴原 和	柴原 和	茨城	
澁谷 啓藏	澁谷 啓藏	茨城	
石井 城南	石井 城南	茨城	
人見 寧	人見 寧	茨城	
小野篤次郎	小野篤次郎	茨城	
三浦 安	三浦 安	茨城	
土岐 裕	土岐 裕	茨城	
安藤 太郎	安藤 太郎	茨城	
山井 幹六	山井 幹六	茨城	
黒田 清綱	黒田 清綱	茨城	
三好 退藏	三好 退藏	茨城	

### 家庭生活

#### 「簡易保険」

一家の柱となる様な者にあつては、その變は最も大きいのである。そして又、自分達が困つたとしても、他家から只求めて貰ふと云ふ直接權利はないので、つまり現在の社會制度では

一つが自分を守つて行かねばならぬものであり、そうして行くことがまた社會に對する第一の務めであるのである

ところが、我々の生活は平常も事なくやつて行けるものなら心配はないが、いつどんな想ひもよらぬ支障が襲つて來ないとも限らない。然に秘々働いて生活を立てゝゐる家庭で、その収入の根本の資本である人の身体に若し萬一の事があつた場合は、それは何と云つても忽ち収入の道は絶え、又は減少し一家はすぐ困窮してしまふ。またその様な不幸のみでなく、人は必ず収入力を弱かす老衰と云ふものがやつて來る。

### 父正直儀豫て病氣療養中の處去 二十一日東京市本郷區別邸に於 て享年八十七にて永眠仕候間此 段辱知諸彦に謹告仕候

追て送葬の儀は十月四日午後一時自宅出棺妙賢寺に於て葬儀執行可申候  
昭和十年九月三十日  
男 堀江正茂  
外親戚一同

# 高 値 づ ら れ て

## 増 作 不 可

(四) 播種期を控へる  
小麦栽培に就て  
春さきに起るところの黄枯  
れ病には大日本人造肥料製の  
酸曹液百倍のものを反當り二  
石の割に二回如露でかけると  
卓効がある。

次に窒素肥料の多用は一殺  
に病害を起すことは周知のこ  
とであるが今年愛知縣に於て  
其の地方に多い有機質肥料を  
施用した畑のみ線虫(さんし  
ようづぶ)が發生して驚かさ  
れたがその原因は農林省農事  
試験場にて目下研究中であ  
るから逃からず判明すること  
であらう。尚ほ好む場合は一  
度その肥料を堆肥にして使用  
する様にされた方が安全であ  
らうと思ふ。

麥の害虫は五十餘種もある  
従つて被害の大きいものでは  
るがその中被害の大きなもの  
を上げると、  
麥蟻、はりがねむし、けら、  
しろとびむし、とき(三類  
類)麥のもぐりばい、あぶ  
ら虫等があり、  
此の中にはりがね虫の如く  
驅除の困難なものもあるがア  
ブラ虫や麥蟻の如きは驅除法  
は完全なものがあるに拘はら  
ず果樹、蔬菜類とくらへると  
殺菌耕作の農家は一般に害虫  
に對して神経過敏でなく甚だ  
ゆるがせにされてゐる様に思  
はれる。

これは結局驅除方法が經濟  
的に見て引合はないとか又  
はその方法が厄介であるとか  
かに起因してゐるので指  
導當局では簡單で而かも

濟的なものを折角研究され  
てゐるが一つを解決すると  
また新しいものが出て來る  
と云つた様な具合で思ふ様  
に行かざるを得る。

町 屋 紺 町 平  
**藤沼醫院**  
電 五 〇 七 番

## カクニ石鹼

嚴密なる注意を以つて原料を精選するが故  
泡立に……芳香に……量に……總て理想的の優良品です

に ツル ヤ 平四 電一四〇

◆一般印刷物も  
御引受致します  
新いわき新聞社  
印刷部

### 債券 公債 両管 金融

多田井質店  
平町大町  
電話五九一

### 便利で 經濟な 日下家政婦會の

### ● 派出婦を御利用 下さいませ

身元確かで品行方正ですから  
何を任せしても安心です

### 日下家政婦會

會員(同志)の  
御加入を御誘  
ひ致します  
派出なき附  
属に就ては御  
接洽しませ

平町字田町十八番地(西村屋横町)  
會長 日下すい子  
電話(呼)一八九番

### 耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)藤田女學校前  
入院應需 **鈴木醫院**

### 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は **三三屋** 平町 田町



**油問屋 關内油店** 電話長 16  
支店 平町四丁目 電話長 三二八  
支店 平町三丁目 電話長 三二八

## 洋服は 高島屋

注文並に既製品  
秋物 入荷

### 高島屋洋服店

平町二丁目 電話三八六

朝日新聞  
朝日新聞  
朝日新聞  
朝日新聞

新時代の要求  
附屬事業に等外看護婦部を特  
設いたし皆様の御用向へ身元  
確實なる婦人を派出致します

### 平看護婦會

御手不足の御家庭輕  
い御病人の付添妊婦  
産婦の御家庭  
經濟的な御  
便宜ご用命  
をお願致升

平町南町 電話三〇七  
會長 清野キヨ

### 好評 たる各種優秀藥

カクレイ (三十三日分)  
カクレイ (定価一圓) (定価一圓)

強力驅毒劑  
スピロイン (定価一圓) (定価一圓)

平町五丁目角

特約販賣店 **山野邊藥局**

### (磐城共濟病院)

福島縣平町電六四一

内科	院長 石山謙
小兒科	部長 藤尚助
外科	部長 黒澤廣
皮膚泌尿科	部長 町久藏
外科耳鼻咽喉科	部長 山澤
皮膚科花柳病科	部長 山澤
眼科	部長 山澤
耳鼻喉科	部長 山澤
産婦人科	部長 山澤
物理療法科	部長 山澤
放射線科	部長 山澤
検査部	部長 山澤
事務局長	鈴木 寶雄

(毎日午前八時より午後十時迄診療)  
●病室完備 ●入院隨意 ●

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致し  
ます、今回當店に於て貨物自動車  
部を新設し金成自動車部を專屬と  
して三十五年式新車を以て貨物一  
般の運輸に従事致しましたから倍  
舊の御用命と御利用の程を偏へに  
御願上します。

親切 迅速 安全 第一  
取扱 **清宮運送店** 電話二六七番  
貨物自動車運輸 電話二六七番

自動車の御用は、電話二六七番  
へ願ひませ

**金成自動車部**